

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 株式会社 クエスト  
 コード番号 2332 URL <http://www.quest.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 和朗  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 山越 千秋  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3453-1181

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	5,139	2.3	155	△3.2	172	△1.6	104	△14.2
25年3月期第3四半期	5,025	0.1	160	△11.4	175	△15.0	121	11.4

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 167百万円 (29.4%) 25年3月期第3四半期 129百万円 (21.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	20.18	—
25年3月期第3四半期	23.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	4,509	3,650	81.0	706.14
25年3月期	4,509	3,638	80.7	703.81

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 3,650百万円 25年3月期 3,638百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,250	7.0	350	37.5	360	34.2	200	12.8	38.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	5,487,768 株	25年3月期	5,487,768 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	318,220 株	25年3月期	317,927 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	5,169,735 株	25年3月期3Q	5,194,585 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日本銀行による大規模な金融緩和や政府による景気対策を背景に円安・株高が進行し、緩やかな回復傾向にあります。この一方で、原材料価格の上昇や4月に予定されている消費税率引き上げに伴う消費マインドへの影響等、依然として先行きの不透明な状況で推移しております。

当社グループ（当社及び連結子会社）の属する情報サービス業界においては、経済産業省の「特定サービス産業動態統計調査2013年11月分確報」の情報サービス業の項によると、11月の売上高は、前年同月比2.9%の増加となり、4ヶ月連続の増加で推移しております。

当社グループを取り巻く経営環境は、経営のグローバル化やクラウドコンピューティング、スマートフォン・タブレット端末等のテクノロジーの進歩により急速に変化しております。このような環境の変化を新たな成長のチャンスと捉え、以下の施策を推進し計画達成に向けて邁進しております。

#### (a) ビジネス構造改革と循環型成長サイクルの確立

従来の時間精算で対価をいただくビジネスに対して、顧客にソリューションを提案していくビジネスや、成果物で対価をいただくビジネス領域を拡大することによってビジネスの構造を改革していきます。

また、①顧客に「ITシステムコンサルティング」等を実施して顧客の抱える課題を洗い出し、②「ソリューション」を提供することによりコンサルティングで洗い出された課題を解決し、③導入されたシステムの保守・運用の高度化を図りシステムの効率化を追求し、④安定した中で、オフサイト、ニアショア、オフショアなどの形態でアウトソーシングを実現していく、という流れを提案・提供することで、循環型成長サイクルを確立していきます。

#### (b) 戦略的事業モデルの強化

##### ①ソリューション型事業モデルの創造、強化

- ・業務基幹システムと情報系分析機能を兼ね備えた「クエストERPソリューション」として、案件・プロジェクト損益管理機能、SAPの置き換えなどにフォーカスします。
- ・営業支援、顧客管理アプリケーションを狙った「業務向けスマートソリューション」では、Windowsサーバ対応、基本アプリケーションを拡充します。

##### ②アウトソーシング受託事業の強化

- ・クエスト版クラウドデータセンターサービスとハイブリッド（常駐＋オフサイト）運用サービスを連携する「インフラアウトソーシングサービス」を提供します。
- ・顧客からの要望が増えている「ニアショア体制」を強化するとともに、加速する顧客ビジネスのグローバル化に対応した「オフショア体制」を確立します。

当第3四半期連結累計期間における業績の概況は以下のとおりです。

売上高については、前年同期比2.3%増の51億39百万円となりました。利益については、営業利益は前年同期比3.2%減の1億55百万円、経常利益は前年同期比1.6%減の1億72百万円、四半期純利益は前年同期比14.2%減の1億4百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

システム開発事業については、通信系分野の新規顧客開拓及び新規開発案件の獲得が出来ましたが、金融系顧客からの請負開発案件が前年に比べ減少したことにより、売上高は前年同期比0.7%減の25億65百万円となりました。セグメント利益は、請負開発案件におけるプロジェクトマネジメントの強化により不採算案件が減少し前年同期比0.8%増の3億25百万円となりました。

インフラサービス事業については、大手電機メーカーグループ各社や情報サービス企業へのサービス領域が拡大し、売上高は前年同期比7.0%増の23億3百万円、セグメント利益は、増収効果により前年同期比3.3%増の3億56百万円となりました。

その他の事業については、売上高は前年同期比3.9%減の2億77百万円、セグメント利益はサービスマネジメント工数の増加などにより前年同期比55.9%減の15百万円となりました。

(注) 1. 「その他」の事業には、受託計算サービス事業、データエンリー事業及び商品販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益につきましては、全社費用等の配分前で記載しております。

※ニアショアとは、オフショアが海外でシステム開発や保守を行うことに対し、国内の遠隔地でシステム開発や保守を行うことを指します。首都圏等と比較して地方はコストパフォーマンスの面から優秀な人材を確保し易く、かつ物価が安いことなどにより、低価格でのサービスの提供が可能となります。

(2) 財政状態に関する説明

<資産>

当第3四半期連結会計期間における資産の残高は45億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ、ほぼ同額となりました。

<負債>

当第3四半期連結会計期間における負債の残高は8億59百万円となり、前連結会計年度に比べ11百万円減少しました。これは主に賞与引当金が98百万円減少したことに対し、未払金が41百万円、預り金が24百万円、退職給付引当金が21百万円増加したことによるものです。

<純資産>

当第3四半期連結会計期間における純資産の残高は36億50百万円となり、前連結会計年度に比べ11百万円増加しました。これは主に配当金の支払等で利益剰余金が50百万円減少したことに対し、その他有価証券評価差額金が60百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月14日に公表いたしました通期連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,144,920	2,081,136
売掛金	856,779	879,352
有価証券	199,675	100,659
仕掛品	24,410	74,225
その他	203,511	151,482
流動資産合計	3,429,297	3,286,857
固定資産		
有形固定資産		
建物	132,679	133,595
減価償却累計額	△58,306	△61,076
建物(純額)	74,372	72,518
土地	69,864	69,864
その他	109,627	117,722
減価償却累計額	△88,060	△95,214
その他(純額)	21,567	22,507
有形固定資産合計	165,804	164,891
無形固定資産		
のれん	10,200	2,550
その他	83,033	67,487
無形固定資産合計	93,233	70,037
投資その他の資産		
投資有価証券	613,164	807,983
その他	207,579	179,680
投資その他の資産合計	820,744	987,663
固定資産合計	1,079,782	1,222,593
資産合計	4,509,080	4,509,450

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	126,334	142,188
未払法人税等	5,894	8,315
賞与引当金	229,752	130,812
プロジェクト損失引当金	639	5,029
その他	272,926	313,455
流動負債合計	635,546	599,801
固定負債		
退職給付引当金	217,832	239,700
役員退職慰労引当金	16,675	19,075
その他	461	461
固定負債合計	234,968	259,236
負債合計	870,514	859,038
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	491,031	491,031
資本剰余金	492,898	492,898
利益剰余金	2,852,037	2,801,287
自己株式	△221,827	△222,034
株主資本合計	3,614,139	3,563,182
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,527	84,155
為替換算調整勘定	899	3,073
その他の包括利益累計額合計	24,426	87,229
純資産合計	3,638,565	3,650,411
負債純資産合計	4,509,080	4,509,450

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	5,025,577	5,139,541
売上原価	4,293,570	4,417,572
売上総利益	732,007	721,968
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	190,554	197,901
役員報酬	106,001	90,905
賞与引当金繰入額	10,253	11,157
退職給付費用	10,664	12,365
役員退職慰労引当金繰入額	1,666	2,400
その他	252,396	251,882
販売費及び一般管理費合計	571,536	566,612
営業利益	160,470	155,355
営業外収益		
受取利息	12,528	5,617
受取配当金	267	8,928
その他	2,290	3,407
営業外収益合計	15,086	17,953
営業外費用		
為替差損	129	673
その他	29	32
営業外費用合計	159	705
経常利益	175,397	172,602
税金等調整前四半期純利益	175,397	172,602
法人税、住民税及び事業税	7,333	30,234
法人税等調整額	46,418	38,023
法人税等合計	53,751	68,257
少数株主損益調整前四半期純利益	121,646	104,345
四半期純利益	121,646	104,345



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	121,646	104,345
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,546	60,628
為替換算調整勘定	△5	2,174
その他の包括利益合計	7,540	62,802
四半期包括利益	129,187	167,147
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	129,187	167,147

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。